

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 9 日 作成

総合計画体系	事務事業名	職員健康診断事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	建岡 純雄
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	市長公室	担当者名	衛藤 美由紀
	基本事業	82	効果的な組織運営			所属班	秘書人事班	(内線)	1216
					法令根拠	労働安全衛生法、合志市職員安全衛生管理規程			

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
	1	2	1	1	10999			コスト削減優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		18	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
 【職員健診事業】年1回の定期健康診断を行う。なお、技能労務職員については、特殊健診を併せて行う。  
 【産業医委託事業】職場の環境管理および職員の健康管理のため産業医を委託し、労働安全衛生の促進を行う。  
 【業務の流れ】  
 【職員健診事業】①健診委託業者の選定および契約締結 ②委託業者と健診内容及び日程の打ち合わせ ③職員への健診の内容等の周知 ④健診の実施  
 【業者へ委託料の支払い】  
 【産業医委託事業】①産業医の選定および契約締結 ②職場の安全衛生管理に対する相談③産業医へ委託料の支払い  
 【主な予算科目】【款】2総務費 【項】1総務管理費 【目】1一般管理費 【節】13委託料  
 1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・産業医委託事業を実施した。菊池養生園保健組合 ・職員健診を実施した。菊池養生園保健組合 平成20年度受診者433人 ・特殊健診(技能労務職)を実施した。県労働安全衛生センター 3人	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同じ。 ・産業医委託 ・職員健診、特殊健診(技能労務職)
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 職員(一般職の非常勤職員と臨時職員含む)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 健診受診職員数 人 イ 産業医への相談件数 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 自らの健康を管理する意識を高め健康を維持する。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 職員数 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 計画を達成するための効果的な組織となっている。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 健康への意識が高まったと考える職員数 人 イ 疾病予防のための取組を行っている職員数 人
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 効果的な組織と思う職員の割合 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移										
投入量	事業内訳	単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
	国庫支出金	千円								総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  0          0  0
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	4,508	4,583	5,831	4,786	5,825	5,825	5,825	
	(A) 事業費計	千円	4,508	4,583	5,831	4,786	5,825	5,825	5,825	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
人件費	人	2	2	2	2	2	2	2		
正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2		
延べ業務時間	時間	172	148	150	152	150	150	150		
(B)人件費計	千円	683	589	597	605	597	597	597		
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,191	5,172	6,428	5,391	6,422	6,422	6,422		
活動指標	ア 人 イ 件	420 0	416 0	442 15	433 0	435 12	435 12	435 12	目 標 合 計 値 画  22 年 度	
対象指標	ア 人 イ 人	514	522	521	525	528	528	528		
成果指標	ア 人 イ 人		276 141	280 145	290 150	310 170	315 175	320 180		
上位成果指標	ア % イ									

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等  
 ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
 労働安全衛生法、合志市職員安全衛生管理規程に基づく健康管理として従来より行ってきた。  
 ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 職員数は減少しているが、退職者補充等の非常勤・臨時職員が増加したことにより健診委託料が増加した。  
 ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 特に聞いていない。

事務事業名	職員健康診断事業	所属部	総務企画部	所属課	市長公室
-------	----------	-----	-------	-----	------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 自らの健康を管理する意識を高め健康を維持することにより、計画を達成するための効果的な組織となっている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 職員の健康管理を行うことは事業主の務めである。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 職員の意識や生活習慣を変えることにより健康が増進する。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 職員の健康状態を把握することができない。 早期の段階で疾病を発見することができなくなり、職員が体調不良のまま従事し、いずれは組織機能の低下につながる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 市が構成団体となっている一部事務組合の菊池養生園で健診を行うため、健診単価は決まっている。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限で行っている。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 労働安全衛生法に基づく健診事業であり公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。職員の意識や生活習慣を変えることにより健康が増進する。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 職員の健康に関する意識向上を図る。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

健康診断受診後のフォローアップ、特定健診の活用。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	8	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2)貢献度	9	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )